

「光で記憶を見る操作する」

— 記憶痕跡細胞の操作と活動パターンの可視化が開く
記憶情報処理機構の理解 —

講師

大川 宜昭 先生

富山大学大学院医学薬学研究部（医学）生化学講座 講師、さきがけ研究員

近年、記憶研究は、最新の分子生物学や光学技術を基盤として目覚ましく進展している。記憶は、あるイベントを経験した時の感覚入力によって活動した一群の細胞集団（セル・アンサンブル）にコードされることが明らかとなり、このセル・アンサンブルは、記憶痕跡と呼ばれる。我々は、マウスの脳内にセル・アンサンブルとして存在する記憶の操作法を確立したことで、記憶の質的变化を人為的に誘導できることを示してきた。

本講演では、我々が光遺伝学を利用して行った異なる2つの記憶情報を連合させる新しい人工記憶の創出例に加え、光学的に自由行動下のマウス脳内で表現される記憶痕跡に特有な神経活動パターンを観察した結果を紹介し、セル・アンサンブルレベルでの記憶のコーディングと固定化の機構を考察したい。

日時 平成29年 **10**月**6**日（金）

17:00 - 18:30（講演60分+質疑応答30分）

会場 鳥取大学 米子キャンパス・鳥取キャンパス

（主会場） 鳥取大学医学部 臨床講義棟(2階) 421室
〒683-8503 米子市西町86

（LAN中継） 鳥取大学ベンチャービジネスラボラトリー棟(1階)
セミナー室
〒680-8550 鳥取市湖山町南4-101

対象 鳥取大学の教職員および学生、
TIFNet参画機関の研究者・技術職員、
民間企業等の研究員・技術者

申込 9月29日（金）まで

受講希望の方は、所属・氏名・連絡先（電話およびメールアドレス）を記載したメールまたはFAXを以下の連絡先にお送りください。

【連絡先】

鳥取大学生命機能研究支援センター

FAX：(0859) 38-6470**メール：desp@adm.tottori-u.ac.jp**

（電話：(0859) 38-7523 お問い合わせのみ）

（主会場）米子キャンパス
緑18番の建物



（LAN中継）鳥取キャンパス
青19番の建物



鳥取大学生命機能研究支援センター講演会
「光で記憶を見る操作する」

ー記憶痕跡細胞の操作と活動パターンの可視化が開く記憶情報処理機構の理解ー

F A X 申込用紙

申込期限：9月29日（金）

機関名	
氏名	
職名（学年）	
電話番号	
メールアドレス	

ご提供いただいた個人情報は、参加者の事前把握および今後の支援活動の企画立案に利用いたします。

また、次回以降のセミナー等のお知らせにも利用させていただくことがありますが、お申し出があれば中止いたします。

○F A Xで申し込む

この用紙を記入しF A Xでお送り下さい。F A X：0859-38-6470

○メールで申し込む

下記メールアドレスにお送りください。

メールアドレス desp@adm.tottori-u.ac.jp

F A X
送信方向

TIFNet 窓口（鳥取大学生命機能研究支援センター）

FAX：0859-38-6470